

合併して 2、3年先が正念場

尾崎昭雄 さん

おさき・あきお 76歳
青谷町青谷



今のところ、よくなったことも悪くなったこともあまりありませんが、普段の暮らしの中で感じることは、ゴミ袋が安くなったこと、またゴミ収集の方が以前より親切になったことですね。役所の用事は、総合支所で十分間に合っていますが、支所の職員数が減りサービスが低下しないかと少し心配しています。市報の発行は、旧青谷町のときは月1回だったのが2回になり、内容も鳥取市全域のことがきめ細かく掲載されています。

これからは、住民も今までのように行政頼みだけではいけませんし、知恵をしばらなければと考えます。老人クラブの会長をしていますが、我々が健康で元気にいることが、最大の社会貢献だと、常々会員に言っています。

現在は、合併1年目で不自由を感じていませんが、今後2、3年先が正念場です。現在のサービスを続けていただけるよう望みます。

たくさんの人と 交流ができるように

湯谷美咲 さん

ゆたに・みさき 国府東小学校6年
国府町中河原



陸上大会や水泳大会など、今までは岩美郡で行われていましたが、合併してからは鳥取市の大会になって、今まで以上にたくさんの人と交流ができるようになり、友だちが増えました。また、おばあちゃんと一緒に、「東部わかとり会」の連でしゃんしゃん祭に参加するようになって今年で3回目ですが、今年は今までの中で観客の人がいちばん多くて、踊るのがうれしかったです。10月の「万葉集朗唱の会」では、旧市内の人も参加し、詠い方もいろいろで楽しかったです。

今年8月にあった市役所見学会に参加して印象に残っているのが、駅南庁舎にある中央図書館です。私は本が好きで、国府町中央公民館の図書室へはよく行きますが、その何10倍もの広さに、たくさんの本が置いてありました。

また、来年4月には、国府でもケーブルテレビが見ることができるようになるので、今からとても楽しみにしています。

制としますが、自治連合会組織の統合に向け、取り組みを進めています。

「自治会活動活性化支援事業」のうち、「きらめくまちづくり事業」については、個性ある地域づくりや地域課題への対応など、特色ある活動が実施されるものと考えています。

また、「コミュニティ活動支援事業」については、運動会など身近な地域活動を継続・実施していただけるものと考えています。

さらに、「集会所補助金」についても、これまでに多くの申請があり、地域活動の核施設として整備・充実に努めています。

合併のメリットを活かし 市民が誇れるふるさとに

本市は、大変厳しい財政状況の中で、安定的で持続的な行政サービスを提供していくため、思い切った改革を行い、長期的に持続可能な行財政基盤の確立と将来にわたる地域活性化の実

現に最大限の努力をしています。

合併によるスケールメリットを活かし、人件費や物件費の大幅な削減を計画的に行うことができるようになります。また、特例市への移行による権限移譲などにもない、より専門性の高い行政サービスの提供やまちづくりが可能になりました。

そして、それぞれの地域に根づいた特色ある伝統・文化行事も、新市の取り組みとして広く情報提供することにより、参加者も増え、継承、発展する方向で実施でき、新市の一体化も着実に進んでいます。

20万人の鳥取市民が、各地域の良さや課題を相互に理解し、鳥取市民として一体感をもつとともに、本市が、今後、バランスのとれた発展をすることにより、全ての市民にとって誇りのもてるふるさととなるよう、職員が一丸となって、引き続き、まちづくりに全力で取り組んでまいります。